



令和5年 11月 29日

チームやまて！！

園長だより

山手幼稚園

片付けの時に道具を洗っていると「水が冷たい!」とつぶやいたり、「イチョウの葉が黄色だ!」と色の変化に気付いたりして、幼児は遊びや生活の中で季節の移り変わりを感じています。

秋の自然物で遊ぼう

園庭に落ちたイチョウや泰山木の葉や木の実、花を付け、オリジナルの冠を喜んで作っています。完成するとウサギになって遊んだり、ナンテンの実を押しながら「ここのボタンを押すとビームが出るよ」とイメージすることを伝えたりして楽しんで冠を作っています。

【10の姿】

- ・思考力の芽生え
- ・自然との関わり
- ・数量、図形、文字等への関心、感覚
- ・言葉による伝え合い
- ・豊かな感性と表現
- ・協同性…5歳児

5歳児は木片を組み合わせてミニミニハウスを作り、家の飾りを自分たちが育てた綿や花、木の実、種などをボンドで貼り付け、世界で一つだけの家を作っています。洗濯物を干したり、ベッドを作ったりするなど細かい部分まで考えて作る姿には驚かされます。細かい部分を作る5歳児は、集中して真剣な顔!完成をした時の顔には、達成感と満足感で満ちあふれた表情に頼もしさを感じさせられます。



お風呂よ



葉っぱのじゅうたん



かわいいでしょ!



【10の姿】…幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿

餅つき

4年振りの餅つき。地域のボランティアの皆様と役員幹部の有志にお力をお借りして行いました。大半の職員は山手幼の餅つきが初めてのため、何度も会議を開き協議して実施いたしました。

餅をつくことや餅を揉むことを楽しむ子どもたち。揉みながら「柔らかい」「温かい」と感触を楽しんでいました。給食があるため、きび団子程の餅を「きな粉」や「砂糖醤油」を掛けて食べました。幼稚園は日本伝統の文化を大切にしています。コロナ禍のため、やむを得ず中止にしていた餅つきでしたが、幼児の楽しむ姿を見ると実施できたことに喜びを感じました。翌日、たくさんの方から「餅を家族で分けて食べました」「楽しかった。と教えてくれました」等のお声を聞き、嬉しく思いました。地域の方や保護者の方に感謝の一日でした。



5歳児は、もち米を洗いました

- ・3・4歳児は先生と一緒に餅をつきました。
- ・5歳児は一人で杵を持ってつきました。



今年もあとひと月ですね。園生活の中での気付きやお子様の成長などをよろしければお聞かせください。

きりとり線

() (園児名)